

1996年特別委報告を振り返る

都市計画・都市計画学・都市計画学会

秋本福雄

1996年「21世紀学会ビジョン検討特別委員会報告書」

渡辺 俊一（主査） 東京理科大学理工学部
建築学科教授

秋本 福雄 東海大学工学部土木工学科教授

薄井 充裕 日本開発銀行総務部副長

小林 重敬 横浜国立大学工学部建設学科教授

武内 和彦 東京大学アジア生物資源環境研究センター教授

牧 葉子 川崎市都市整備局新川崎地区整備室
主査

養茂寿太郎 東京農業大学農学部造園学科教授

森反 章夫 東京経済大学経営学部教授

渡辺 貴介 東京工業大学工学部社会工学科教授

太田 守幸 (有)ラバン代表取締役

小田切利栄 世田谷区教育委員会教育総務部建設
担当課

橘 裕子 埼玉県住宅都市部建築指導課主査

中村 文彦 横浜国立大学工学部建設学科助教授

宮城 俊作 千葉大学緑地環境学科助教授

吉川 徹 東京都立大学工学部建築学科助教授

1996年4月22日

基本的認識

「都市計画」は「技術」である。構築技術の
枠を超えた一種の社会的技術である。

「都市計画学」は、都市計画技術「のため
の」学問、「に関する」学問である。

「都市計画の社会的機能・法制度・技術内
容・研究課題の変化」

「一般の社会的・技術的变化」

にどう対応すべきか。

都市計画学の探求と学会の設立

石川栄耀(1893-1955)

石川栄耀の略年譜と学会の設立

- 1920年1月 都市計画法施行。
- 1920年10月 内務省都市計画委員会技師。
- 1943年7月 東京都制施行、東京都技師。
- 1944年10月 東京都計画局都市計画課長兼務。
- 1946年～1948年 戦災復興都市計画の決定。
- 1948年6月 東京都建設局長。
- 1951年11月 東京都建設局長を辞す。早稲田大学土木工学科教授。
-
- 1951年10月6日 都市計画学会設立、早稲田大学大隈講堂。
- 事務局は、東京都建設局都市計画課内(-1952)。

学会設立の原動力・「都市計画を学問に」

- 「学会の設立について最も積極的に動いた人物」(五十年史: 20)。
- 「都市計画学会設立のころ、いちばんそれを主唱し、努力をされたのは・・・石川栄耀さんであった」(谷口成之 1968: 6)。
- 「都市計画学会の発祥は・・・当時の都市計画協会のあり方に満足しておられなかった石川さんの提唱による」(山田正男 1968: 7)。
- 「都市計画学会設立の始動は・・・石川栄耀さんを中心にした都市計画家グループによって起こされた」(今野博 1968: 9)
- 「石川栄耀先輩がよく『都市計画は術であって学ではない』と云われていた」(木村三郎 1992: 2)。
- 「石川さんを中心に・・・何とか都市計画を学問として成立させたいと云う願望は強かった」(今野博 1968:9)。

1951年10月10日 全国都市計画協議会での発言

- 「都市計画協会の学術部・・・がどうしても必要である」。
- 「この学会におきましては、実際問題の研究、あるいは宣伝、普及、あるいはその他推進に関する面のほとんど主として純粹の都市計画学に邁進したいという同志の願いでございます」
- 「外国の学問を読めばよいというのではありません。・・・彼らは永い間の通念から都市計画の常識が行き渡っているから、学問的整理を必要しない・・・。皆様と共に日本の都市計画学を確立して行くという...考えから出来た」

都市計画は都市の有形的施設を構成する技術である

笠原敏郎(1882-1969)

笠原敏郎の略年譜

- 1918年5月 内務省大臣官房都市計画課設置、内務省技師。
- 1920年1月 都市計画法施行。
- 1920年12月 市街地建築物法施行。
- 1923年11月 帝都復興院技師。
-
- 1920年9月 日本大学高等工学校建築科長。
- 1929年11月 日本大学工学部教授。

笠原哲郎(1936)『都市計画』

- 都市計画は「都市構築の計画」である。・・・初めのうちは、往々都市経営の計画と混同された・・・、今日に於いては一般に都市の有形的施設の構築に関する計画を意味する・・・。
- 道路、橋梁、公園、住宅、工場等の所謂都市構成分子たる各箇の施設・・・を合理的に組み合わせて都市を構成する計画。
- 都市計画は、これを土木術、建築術、造園術等を基礎知識として、是等を総合統一せる独立の技術である。

都市計画は、都市の土地や施設を構成する技術である

高山英華(1910-1999)

高山英華の略年譜

- 1934年 東京帝大建築学科卒業。
- 1938年 東京帝国大学工学部建築学科助教授。
- 1938年 大同都邑計画。
- 1943年 東京帝国大学第二工学部建築学科助教授(防空講座)。
- 1949年 東京大学工学部建築学科教授、第六講座(都市計画)。
- 1962年 東京大学都市工学科設立。

高山英華 (1952) 「都市計画の方法について」

- 都市計画といっても都市のあらゆることを計画するわけではなく、都市を土地や施設を通じて具体的にとりあつかうところにその特徴がある
- 都市の目的を現実には土地や施設を通じて具体的に実現させることが都市計画技術の主な任務となる。
- それ自体独自の合法則性をもちうるのであって、これが体系づけられた時に都市計画技術の社会的意義が一層はっきりと浮かび上がってくると思われる。
- 都市計画理論を単なる手段としての技術学に止めておく意図をもつものではない。都市計画理論の発達によって都市の目的設定や価値創造の仕事がより理論的に導かれることをも常に切望している・・・。

都市の形態・構成はいかにあるべきか

飯沼一省(1892-1982)

飯沼一省の略年譜

- 1917年 内務省土木局採用。
- 1920年 都市計画法施行。
- 1922年 内務省都市計画局内務事務官。
- 1923年 米欧外遊。
- 1924年-28年 内務省大臣官房都市計画課内務事務官。
- 1931年-34年 内務省大臣官房都市計画課長。
- 1946年 内務次官。
- 1947年 東京都長官。
- 1967年 宅地審議会第六次答申時の会長。

「都市計画をやるようにといわれて」

- 「大正11年，内務省に都市計画局ができたとき，わたくしは内務事務官として同局勤務を命ぜられた。当時われわれは何故に都市計画という特別な行政が必要なのかが，よくわからなかった(1969a: 1)。
- 「都市計画をやるようにといわれて内務省へ来たのですが、実はその都市の理念、都市はいかにあるべきかがわからなかったんです。都市計画というものは一体何だろうか」(1969b: 48)
- 「日本には、都市計画法あれど、都市計画なしという状態であった」(1986: 240)。

「田園都市論に遭遇して」

- 「そのとき、とにかく外国に行って見て来たらよかろうといわれて、あちこち歩き回ってイギリスに行きまして、そしてイギリスのハワードという人のガーデンシティの理論に遭遇して、私は「これだ」と思いました」(1969b: 48)。
- 「イギリスで私が初めて、都市計画というものはこういうものかという感じがしたのは、やはりイギリスの田園都市論でした。これではじめて都市計画というものがわかったような気がしました」(1969b: 34)。
- 「都市は如何なる形態をもつべきであるか。此の問題は都市計画の根本問題であつて、都市計画を論ずる者は先づ此の問題に確信を持たなければならぬ」(1927: 1)。
- 「誇るに足る都市像」(石川栄耀 1952: 3)

都市の変化と都市計画の変化: 小林重敬(1942-)

- 小林重敬 (1987). "構造転換と都市計画研究の課題 20世紀システムから21世紀システムへ向けて." 都市計画シンポジウム 論文集 10: 76-84.
- 「既成市街地を対象とする都市づくりが中心的な都市づくりにならざるを得ない。」 (2008: 15)
- ・ ・ ・ 1987年のドイツ新建設法典提案理由。
- 「新しい建築用地の指定よりも、むしろ指定済みの建築用地の利用及び活性化の方が問題になるであろう」
- 「衛星都市の時代、外部地域での大面積の建築地区の指定の時代は過ぎ去った」 (2008: 23)。
-
- 都市計画に、行政のコントロールの力(規制)のみならず、近隣社会のコミュニティの力(協働)、民間企業によるマーケットの力(市場)が強く働くようになった(2008: 4)。

都市、都市計画技術、都市計画の目標 石田頼房(1932-2015)

- 「『火曜会』という自主ゼミのような研究会 ・ ・ ・ 建築学専攻の大学院生が、マルクス主義経済学や哲学の輪読 ・ ・ ・ 川上秀光さんや磯崎新さんなど ・ ・ ・ 」 (2004: 6)
- 「修士論文に取り組んで ・ ・ ・ 、 「都市計画とは何か」 を、多分に生齧りな哲学的知識をもとにして ・ ・ ・ 考えた」 (2004:7)
- 都市計画の役割とは、「都市空間の発展法則性に働きかけて、都市空間を制御する」「予測される結果を変える」(1996: 125)。
「その変化発展を望ましいものを変えること」である (2005: 64)。

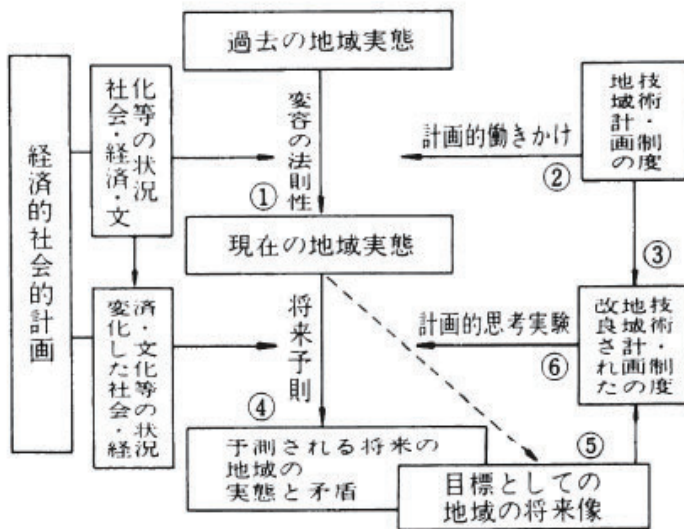


図2 地域計画学の課題と方法

1. 都市の変化の法則性の研究。
 2. 都市計画技術制度史の研究。
 3. 都市計画技術制度の改良、開発の研究。
 4. 都市の将来予測の研究。
 5. あるべき都市の将来像の研究。
 6. 改良された計画技術、制度の検証と評価の研究。
- (1984: 50-51)

都市計画学の三つのカテゴリー(1996)

1. 都市の形成の歴史・現在、今後の将来予測の研究
2. 都市計画技術制度の適用効果の歴史的研究、手法の発展史、制度の改良の提案の研究
3. 都市像、都市計画の思想・思潮・理念史の研究

おわりに

ご清聴ありがとうございました。